

# ひだまり



社会福祉法人 東京都福祉事業協会

Vol.02



平均台に足をかけてバランス(八王子隣保館保育園)

## もくじ

- ① …八王子隣保館保育園    ③ …長寿園    ⑤ …主任ピックアップ    ⑦ …with:サービスセンター長沼
- ⑨ …あの街この街この職場    ⑪ …シンガポール研修    ⑫ …HISTORY:渋沢栄一    ⑬ …協会ニュース・施設の情報発信

# 八王子隣保館保育園



## 地域に根差した、温かで安心できるおうち

のどかな住宅地にある八王子隣保館保育園。

隣には高齢者施設の長寿園、さらにその先には500年以上の歴史を持つ相即寺があり、ゆったりとした時間が流れています。

1939年に開園し、創立約80年という歴史ある保育園を訪ねました。

### 異年齢保育で 思いやりを育む

玄関を入ると、就任一年目という瀬沼靖子園長がにこやかな笑顔で迎えてくれます。それ違う先生たちも口々に「おはようございます」と挨拶を交わし、きびきびと立ち回る中にも和やかな空気が流れています。



▲瀬沼靖子園長

まずは園内を見学。木の温もりある園舎は9年ほど前に建て替えられました。2階には園児の作品が彩り良く、美しく飾られています。



▲園児が染めた、お祭りで着る  
親子お揃いのTシャツが飾られていた

保育の特徴の一つは、3~5歳の幼児クラスで縦割り保育を実施していること。各学年2人ずつ6人の

兄弟グループを作って、卒園まで同じグループで過ごします。



▲午前中の制作をする子どもたち

給食や午後の遊びなど、生活に関する部分は異年齢保育、成長に応じたワークは年齢別保育と、それぞれの良さを生かしています。「給食の時間に年上の子が年下の子のおかわりを持ってくるなど、面倒を

見る、見られることで、信頼関係ややさしさが生まれると思います」と瀬沼先生。兄弟が少なくなっている今、異年齢と関わり合うことは人間関係を育む上できっと役立つでしょう。

一通り見学した後、隣の相即寺へ散歩に行くクラスに同行しました。相即寺には、ランドセル地蔵というお地蔵さまが祀られています。子どもたちは普段からランドセル地蔵の像に向かって手を合わせているのですが、今日は特別にお堂の中を見せていただけることになりました。住職の奥さまからお話があると、子どもたちは静かに聞いています。第二次大戦中、八王子隣保館保育園に疎開していた9歳の男の子がアメリカ軍の機銃掃射にあい、亡くなりました。悲しんだお母さんが男の子に似た面影のある相即寺のお地蔵さんに遺品のランドセルをかけたというお話をでした。自分たちの先輩が戦争で尊い命を落としたということ、伝わっているようです。



▲相即寺でランドセル地蔵の話を聞く園児たち

## 職員同士話しやすく、風通しの良い職場

園に帰り、先生たちに話を聞きました。栄養士の三浦浩子さんは八王子隣保館保育園に勤めて6年目。「和食中心で魚を多く取り入れるよう心掛けています。煮干から取った出汁を使った汁物や鮭の竜田揚げは、子どもたちにも人気。園庭には畑もあり、野菜を育てて収穫

して、調理保育でピザをつくったり、給食にも利用しています。自分たちで育てた野菜はピーマンでも甘いって、よく食べるんですよ」と三浦さん。食費は掛かりますが、魚を多くし、質の良い果物を選ぶなど、食事を大切にしています。



▲栄養士の三浦浩子さん

勤続24年という保育士の石井裕貴子さんにも話を聞きました。「家庭的な雰囲気で働きやすく、長年勤めてきました。卒園児が就職の報告に来たり、ボランティアで手伝いに来たり、卒園しても良い思い出になっているんだなと感じられることがうれしいですね。保育で心掛けているのは、子どもと同じ目線で、じっくり話を聞くこと。ケンカをしていたら、その背景まで考えるようにしています。一人ひとりの様子を見て、丁寧に接することは園のミーティングでも良く話し合われています」



▲保育士の石井裕貴子さん

し、午後の保育を確認する他、月1回職員会議があります。今後は、長期プランを話し合う機会もつくりたいですね。また、連絡ノート等を通じて、子どもたちにとって良い環境を保護者に伝えていくようになっています。一緒に育っていく意識を作り上げられると良いですね」

驚いたのは、園内が静かで穏やかなこと。大声を出して騒ぐ子どもも、声高にたしなめる先生もいません。また、子どもたちが挨拶をきちんとして、人懐っこいことにも、感動を覚えました。先生がきちんと寄り添っているからこそ、子どもたちは落ち着いて過ごすことができるのでしょう。

### 瀬沼園長のお気に入り絵本



「めっきらもっきら  
どおん どん」

長谷川攝子作

ふりやなな絵 (福音館書店)

不思議な世界に迷い込む主人公が、最後に  
「おかあさん」と言って現実世界に戻ってくるところが好き。



「ランドセルを  
じょったじぞうさん」

古世古和子作

北島新平絵 (新日本出版社)

ランドセル地蔵のお話の絵本。

### 八王子隣保館保育園の 基本情報

〒193-0815  
東京都八王子市叶谷町  
1133番地  
TEL:042-622-8130  
JR西八王子駅よりバス10分



## 介護老人福祉施設 長寿園

# 落ち着いた雰囲気の中で、 手厚い看護と介護 立地条件の良さも魅力のひとつ

中央線西八王子駅からバスで10分余り。静かな住宅地に特別養護老人ホーム「長寿園」があります。八王子市内の施設では立地条件の良さが魅力です。隣接する浄土宗の相即寺は「ランドセル地蔵」(児童文学「家出ねこのなぞ」の題材にもなっています。)で知られています。

長寿園は開設以来37年の歴史を刻み、協会で初めて開設された高齢者施設です。

主任生活相談員の山本武志さんが待っていてくれました。決して新しくはないけれど、どこか温かさを感じるエントランス。「昭和の雰囲気」と山本さん。面会に来るご家族からは居室も含めて「落ち着くね」と言われるとか。定員は80名。全てが4人部屋です。でも、一人ひとりのスペースは十分に確保されています。現在、主に食事スペースを広くするための改修工事が行われています。

### 職員の頑張りで 高い稼働率を実現

特別養護老人ホームの仕事は多岐にわたっています。その“要”となるのが「生活相談員」です。どうも「何でも屋」らしい。大きな役割のひとつがご利用者の確保です。ベッドに“空き”を作ってはならない。最近の高い稼働率は「現場の頑張りがあったから」と山本さん。「嬉しかった」。体調管理に気を配ることで入院したご利用者が少なかった。昨年大流行したインフルエンザにかかったご利用者もゼロ。病院との連携もしっかり行われた結果だ。

最も神経を使うのがご利用者やご家族と職員との調整だと言う。時にはご家族から難しい要望等が提案されることも…。それは、施設に対する期待の高さもありますが、全てお応えできないかもしれません。生活相談員に求められる資質のひとつは「きちんと話を聞けること」

だと言います。“コミュニケーション力”が欠かせません。



▲施設長の角田宗広さん（左）  
主任生活相談員の山本武志さん（右）

なければなりません。

昨年、しっかりと看取りに対応するため『プロジェクトチーム』が作られました。一年間、看護師や若手介護職員を中心に熱心に検討を重ねた。角田施設長は「プロジェクトメンバーの意識は非常に高かった」と評価する。『看取りに関する指針』も明文化され、本格的な取り組みが始まっています。

### 意識が高かった、看取り プロジェクトメンバー

高齢者の方にとっては終の棲家ともなる長寿園です。「看取り」に対するニーズも高まっていますが、職員の意識を変えることが課題だと角田宗広施設長は言います。不安をどう払拭するか。ご利用者も100歳以上の方もいれば、60歳代の方もいるなかで、ご家族の看取りに対する意識もさまざまです。しかし、ニーズには応え

### 保育園との交流が ご利用者を笑顔に

長寿園の特長は立地条件の良さだと思います。静かな環境と交通の便がいいだけではない。何よりも協会の八王子隣保館保育園が隣接していること。交流も盛んに行われています。ご利用者が保育園の運動会に参加し、長寿園の運動会に園児たちを招待する。屋外での「パン食い競争」や「鈴わり」が主な種目ですが、園児たちと



の「じゃんけんゲーム」も大いに盛り上がるとか。毎月の誕生日会には「お遊戯」も披露してくれます。普段は難しい顔のおじいちゃんの笑顔が忘れられない、と角田施設長。近くにある小学校との交流も盛んです。毎年、1・2年生が七夕のときは「七夕飾り」のプレゼントを作ってくれ、ひな祭りのときはお内裏様とお雛様の折り紙のプレゼントを持参し、歌を唄ってくれます。

社会福祉法人の施設が求められるのは“地域との結びつき”です。地域と一緒にになって住みよい街を作っていく。子どもたちとの交流もそのひとつです。

## 落ち着く環境がご利用者を穏やかに

ご利用者の穏やかな様子が印象的でした。ご家族が感じるよう、ご利用者にとっても“落ち着く”環境なのだと思います。介護職員の日頃の努力がこのような雰囲気を醸し出しているのだと感じました。ご利用者はフロアごとに食事をとります。お風呂スペース等を改修して広い食堂に生まれ変わる予定ですが、完成が待たれます。

また、看護の“手厚さ”も長寿園の特長です。常勤4名、非常勤2名。

年間を通して看護師さんが不在のときはありません。いま、施設に入居するご利用者は年を追うごとに高齢化が進み、介護度の高い人が増えています。長寿園のご利用者も平均年齢は優に80歳を超えており、100歳以上の方も数名いらっしゃいます。看護師さんの存在がますます大切なことは間違いません。

いま国は、「働き方改革」を進めようとしています。長寿園でも「仕事をもう一度見直したい」と角田施設長は言います。そのための前提として「利用者を中心に考えながらも、職員とのコミュニケーションを大事にする」ことに視点を置く。来年度、大規模なリニューアルが予定されている長寿園。超高齢社会を支える施設として、役割はますます大きくなります。



▲長寿園運動会でのじゃんけん大会

# Pick up Chief! 頑張っています。 個性派ぞろいの主任さんたち

普段はあまり聞けない主任さんたちのこと。  
こっそり聞いてしまいました。  
いや～、実に個性的ですね。  
あのシッカリ者の主任さんも、  
なんだか親しみがわきませんか。

方南隣保館保育園  
主任保育士

## 落合 直美

- ①食べることが大好きで選べません！！  
お肉も煮物もパスタも大好き
- ②いろいろとします。書道、和太鼓、  
バレーボール(若かりし頃都でベスト9入りしています)
- ③虫
- ④やる気、根性、勇気 モットーは「自覚と責任」「感謝、礼節」を忘れない！！
- ⑤「おおきな木」「ラチとらいおん」
- ⑥休日に御朱印帳をいただく
- ⑦書道を続けていて3年前に師より雅号を頂きました。  
書道会では落合輝峰(きほう)です



HIDAMARI

八王子隣保館保育園  
主任保育士

## 羽鳥 ゆみ

- ①保育園の給食(キャロットスープ)
- ②「テレビ」とお友だち、  
(2時間ドラマ大好き)
- ③パソコン
- ④継続は、力なり。「ありがとう」
- ⑤「おばけのがっこうにきてください」「わたしのワンピース」
- ⑥温泉めぐり！
- ⑦「丈夫な体」です。



HIDAMARI

上十条南保育園  
主任保育士

## 小谷 美幸

- ①ミックスナッツ
- ②ジャニーズのコンサートに行く、  
事務所の電話を一番に取る！  
(音が鳴る前から電話の気配に気がつく…)
- ③健康診断の結果を見ること
- ④ダイエット豊富な知識じゃ痩せないと
- ⑤お薦めのTV→3年B組金八先生
- ⑥酒
- ⑦2018年24時間TVの観覧に当選して  
見に行ったこと(倍率600倍！！)



HIDAMARI

王子隣保館保育園  
主任保育士

## 斎藤 由美子

- ①きゅううり、りんご、バナナ、数年前から  
フランスパンにはまってます。
- ②サスペンスドラマを見ること、  
特技はないかも。
- ③ハチ、ゴキブリ、食べ物では梅干し。お弁当の梅干しで  
赤くなつた御飯も苦手。
- ④何事も経験！「やってもないのに、できないっていうな！」  
と子どもたちにはよく言ってました。
- ⑤好きな絵本は「わんぱくだんシリーズ」
- ⑥「現実逃避」と「好きなものを食べてぐっすり眠ること」
- ⑦自慢したいことなんてないです。



HIDAMARI

尾久隣保館保育園  
主任保育士

## 萩原 喜江

- ①みかん、シャインマスカット、  
ホタテ入りマカロニ
- ②特になし
- ③キムチ、青梗菜、チーズ、柿
- ④なし
- ⑤林明子「こんとあき」
- ⑥充分な睡眠
- ⑦林明子さんの原画展でこん(きつね)を買ったこと



HIDAMARI

汐入とちのき保育園  
主任保育士

## 溝渕 由美

- ①ビールに合う食べ物ならなんでも  
(旬の食材)
- ②舞台・ミュージカル観劇、  
ライブ・映画鑑賞
- ③ゴキちゃん
- ④全ての他人を受け入れなさい(キンキーブーツより)
- ⑤「たんぽぽ」「星の王子さま」「君に届け」
- ⑥ランニング、お風呂、カラオケ、寺・神社巡り
- ⑦可愛い猫がいます



HIDAMARI

赤羽北のぞみ保育園  
主任保育士

## 梅原 淳子

- ①お寿司(さび抜き)、もんじゃ焼き
- ②なし
- ③絶叫マシーン
- ④みんなちがってみんないい(金子みすゞ)
- ⑤長谷川義史さんの絵本は笑えるのあり、泣けるのあり
- ⑥なし
- ⑦なし



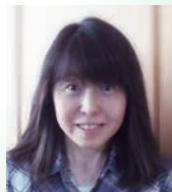
HIDAMARI



- ①好きな食べ物 ②趣味、特技 ③苦手なもの ④モットー、好きな言葉  
⑤お薦めの絵本、小説、漫画等 ⑥心身リフレッシュ術 ⑦ちょっと自慢したいこと

ハイツ尾竹  
主任母子支援員  
**小川 純子**

- ①アボガド
- ②スポーツ観戦 乗馬
- ③酸っぱいもの
- ④本当に大切なものは目に見えない「大丈夫」
- ⑤「星の王子さま」
- ⑥カフェで読書
- ⑦2人の子どもと愛犬が可愛い過ぎる



浮間ハイマート  
主任母子支援員  
**山田 祐子**



- ①いちじく
- ②昼寝、木登り
- ③ポテトチップスなど手でつまむこと
- ④疾風迅雷
- ⑤「100万回生きたねこ」
- ⑥眠る、散歩
- ⑦学生の頃、トライアスロンをやっていた。  
卒業旅行もニュージーランドでトライアスロン！



板橋区立母子生活支援施設  
主任母子支援員  
**平山 紀子**

- ①鶏と大根の煮物
- ②サッカー観戦（プレミアリーグの  
　　チエルシーファンです。）温泉巡り
- ③注射
- ④楽しく生きる
- ⑤辻村美月著「ぼくのメジャースプーン」
- ⑥海外旅行や電波の届かない山中でのキャンプ
- ⑦体力



長寿園  
特養ホーム主任生活相談員  
**山本 武志**

- ①カレーライス、ハンバーグ、焼肉、寿司
- ②オートバイのツーリング、切り絵
- ③くせのある葉もの
- ④継続は力なり、石の上にも3年
- ⑤今野敏の任侠シリーズと隠蔽捜査シリーズ
- ⑥八王子近郊の温泉にバスで行くこと
- ⑦大型バイクに乗ってます



赤羽北さくら荘  
地域包括主任生活相談員  
**闔口 久子**



- ①お刺身・チョコレート
- ②ヨガ
- ③高い場所
- ④越えられない壁はない！
- ⑤茨木のり子詩集「自分の感受性くらい」、  
サンテグジュペリ「星の王子さま」
- ⑥室温38℃のヨガスタジオで大粒の汗を流す
- ⑦どこに行っても、美味しい日本酒を探し出せること



東日暮里サービスセンター  
ディサービス主任介護職員  
**山崎 和子**

- ①チョコレート
- ②昼寝(どこでも寝られる)
- ③片付け
- ④「ま、いっか。」
- ⑤「ハイキュー！」「僕のヒーローアカデミア」  
「ちはやふる」
- ⑥昼寝
- ⑦ありませ~ん



# サービスセンター長沼 居宅介護支援主任介護支援専門員 **板橋 勝彦**



- ①栗、もやし、キャベツ、キノコ類
- ②革のバック作り、庭のビオトープ作り、スポーツ観戦、読書
- ③玉ねぎ/蛾/ジェットコースター等の絶叫系マシン
- ④楽観はしない。ましてや悲觀もしない。ひたすら平常心で。一回でも実践してみると頭の中だけで考えていたことの何倍もの「学び」がある。(羽生善治の言葉)
- ⑤「おいしいれのぼうけん」「ぶたばあちゃん」「てがみをください」(すべて絵本です)
- ⑥庭の池で泳いでいるメダカやドジョウをぼーっと眺めたり、庭に集まるトンボや蝶などの生き物の写真を撮ったりする。
- ⑦動物や昆虫中の生き物について少し詳しいかな



本部  
主任事務員  
**関口 紀子**

- ①きなことあんこ
- ②野球観戦
- ③ゴ○〇〇退治
- ④「来た球を打つ」
- ⑤杉浦日向子「百日紅」
- ⑥お風呂で読書
- ⑦早寝早起き





菅原秀臣センター長

## 迷わず進んだ福祉の道

多摩川に注ぎ込む浅川の流れを目の前に、八王子市高齢者在宅サービスセンター長沼があります。広い空、のどかな風景がどこか懐かしい。「長沼」には4つの看板があります。定員35名のデイサービスと12名の認知症対応デイサービス、高齢者介護の相談や介護予防プランの作成などを行う地域包括支援センター、そして居宅介護支援事業です。これらを統括する施設長、菅原秀臣センター長を出迎えてくれました。

菅原センター長は6年前に八王子の特別養護老人ホーム「長寿園」からこちらに異動になりました。センター全体の管理者になつたのは3年前。学生時代に学んだ『地域福祉』を活かせる職場とのこと。福祉の世界を目指す大きなかけになつたのは、生活保護を受けていた人が、待遇の改善を求めて国を訴えた『朝日訴訟』でした。理不尽と感じた結末に「日本の社会保障はこれでいいのか」と思う。高校卒業を控えて進路に迷っていた時でした。もともと人間に関わる仕事をしたかった菅原さんは、迷わず福祉の世界に進みます。

八王子市

高齢者在宅サービス

センター長沼



# 心穏やかなスタッフが、ご利用者の笑顔を支える

## ご利用者と共に感したい

まずはデイサービスの広さに目を奪われます。折しも習字の時間です。20名近くの利用者さんが一生懸命筆を運んでいます。これはどのデイサービスでも見かけます。「脳トレ」ですが、どこかゆつたりとした空気が流れていたのは、「広さ」のせいだけではなさそうです。

菅原センター長は6年前に八王子の特別養護老人ホーム「長寿園」からこちらに異動になりました。センター全体の管理者になつたのは3年前。学生時代に学んだ『地域福祉』を活かせる職場のこと。福祉の世界を目指す大きなかけになつたのは、生活保護を受けていた人が、待遇の改善を求めて国を訴えた『朝日訴訟』でした。理不尽と感じた結末に「日本の社会保障はこれでいいのか」と思う。高校卒業を控えて進路に迷っていた時でした。もともと人間に関わる仕事をしたかった菅原さんは、迷わず福祉の世界に進みます。

菅原さんがワーカーとして長く働いている中で、常に大切にしてきた言葉があります。「共感」です。ご利用者と「共感」できる「ためにはどうしたらいいか。ご利用者から「菅原、分つてくれるね」という言葉だつたり、眼差しを返していただけます。「ためにはどうしたらいいか。ご利用者から「菅原、分つてくれるね」という言葉だつたり、眼差しを返していただけます。その思いだけは変えようがない。

**ご利用者の笑顔で地域貢献**

社会福祉法人は地域を巻込んだ広域的な取り組みが求められています。では、デイサービスは何ができるのか。高齢者が地域で暮らしていくために何か手伝いができるのか。たとえば、デイサービスの機能を活かして地域に貢献する。いま、地元の自治会が高齢者の買い物支援を行っていますが、菅原さんは昼間使われていないデイサービスの送迎用車両を活かせないかと考えている。「当面、運転は自分がすればいい」。いずれは地域の元気な高齢者に働いてもらつてもいいのではないか。防災訓練だけではなく、この活動を通して地域の人たちにセンターのことを知つていただききつかけになればいい。

ここでのキヤッチフレーズは「笑顔がいぢばん！」です。ご利用者には笑顔になつていただきたい。そのためにも、それを支える職員一人ひとりが心穏やかに、それぞれの持ち味が十分に發揮できる職場でなければならない。その環境を整えるのが「管理者である自分の仕事」、と菅原さん。地域に「サービスセンター長沼」の良さをもつと知つていただくために、菅原さんの「努力」が続きます。

知っておきたい  
仲間の仕事

## 母子生活支援施設 ハイツ尾竹

# 安心・安全な生活を支援し 地域に根差した施設を目指す

賑やかな商店街を抜けた住宅街に位置するハイツ尾竹は、何よりも子どもたちが安心して健やかに成長できる場を提供しています。

### 事業紹介

#### 環境づくりとセキュリティ対策を

季節の行事を多く取り入れ、感性豊かな体験ができる環境づくりを行うとともに、警備員の配置、オートロック、毎月の防災・防犯訓練の実施など、防犯等のセキュリティ対策にも力を入れています。

この施設では、利用者が安心・安全・安寧な生活を送れるよう、家事支援・保育支援・学習支援・就労支援・子育て支援を中心に、抱えている課題に対してきめ細かく丁寧に相談支援を行っています。また心理職を配置し心のケアにも重点を置いています。

#### 力を入れる学習支援

ハイツ尾竹では特に学習支援に力を入れ、子どもたちの未来を広げる支援を行っています。本来学ぶことは楽しいことですが、現実は環境の変化により学習意欲や学力が低下し、諸般の事情から進学を諦め、将来の夢を持てずにいる子どもたちを多く目にします。しかし、子どもにとって学ぶことは権利であり、どの子どもも自由に夢を持ち、将来を選択できるはずです。そのことを伝え、子どもたちが必要な学力を身に付けることや学ぶ意味、楽しさを知り、しっかりと自分の人生と向き合う力を身に付けていけるよう、学習支援を行っています。

具体的にはただ単に学習するのではなく、科学的な実験、物づくりなど体験学習も交えていくことで、子どもたちの興味や関心を引き出していけるよう心掛けています。その結果、勉強が嫌いだった子や机に向かえなかった子が、学習の時間を楽しみに参加するようになり、キラキラとした表情を見せてくれるようになりました。

#### 丁寧に寄り添う子育て強化事業

在所者の方だけでなく地域の方を対象に、育児に関する悩みやお困りのことについて丁寧に寄り添い、母親も子どもたちも笑顔でいられる時間が増えるよう、子育てに関する支援に力を入れています。



▲支援員の千葉雄基さん(左)  
施設長の小野真吾さん(中央)  
支援員の深谷真人さん(右)

#### 食の大切さを知る食育事業

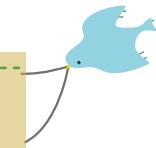
健康の源となっている「食」は重要な課題です。ハイツ尾竹は「食育」に関する支援にも力を入れています。

栄養バランスはもちろん、家事負担軽減の“コツ”や離乳食の作り方、食べさせ方など、食の大切さについて知る機会を設けています。また子どもたちが調理体験の機会を多く持つことで、家でのお手伝いをするきっかけとなることや、その体験が将来子どもたちの生活力にも繋がっていくことも視野に入れて支援しています。地域のフードバンクに携わる方々からもご支援を受け、食材を提供していただいている。

#### 地域とのつながり

#### 地域の一員として貢献する

施設を運営するにあたって最も重要なことのひとつが、地域の方々のご理解とご協力を得て、地域の一員として貢献し活動することです。ハイツ尾竹は地元町会の方々をはじめ、民生委員・児童委員の方々にはいつも子どもたちの健やかな成長を暖かく見守り、施設の運営にもご協力いただいています。今後とも子どもたちによる地域清掃の実施や地域行事への参加、地域の方が利用できるサービスの実施など、地域に根ざした施設として日々努力していきます。



# 地域といっしょに 子どもたちの安心を見守り 健全な育成にも大きな役割を担う



大きく変貌を遂げた日暮里はさまざまな表情を持っています。谷中から根津、千駄木に続くいわゆる「谷根千」の入口であり、スカイライナーが成田空港をわずか36分で結ぶ東京の玄関口でもある。でも、日暮里はそれだけではありません。「布の街」としても知られているのですがその話は後にして、まずは「東日暮里サービスセンター」に向かうことにしましょう。

こちらでは荒川区から委託を受けてデイサービスと地域支援事業を行っていますが、忘れてならないのは、法人で唯一運営する「学童クラブ」です。大関英広施設長に案内されて荒川区立第三日暮里小学校に向かいます。地元では「三日(さんいち)」と呼ばれて親しまれている創立100年の小学校です。入口を入ってすぐ、ふたつの教室が学童クラブとして使われている。土曜日ということで子どもたちは少なく、10数名ほど。普段は100人近い子どもたちが放課後の時間を一緒に過ごすと言う。では、学童クラブってなんでしょうか。複雑化する社会の中で、その存在はますます大きくなっていることを知りました。



▲地域で親しまれる荒川区立第三日暮里小学校(三日・さんいち)

## 時には子どもたちと一緒に 家庭の問題も担う学童クラブ

知れば知るほど、実は“奥が深い”学童クラブ。職員の宇田伸輔先生と森川麻貴絵先生にお話を伺いました。



▲森川麻貴絵先生(左)  
松下智晴先生(左から2番目)  
津島大季先生(右から2番目)  
宇田伸輔先生(右)

実は、ここには学童クラブと合わせて「にこにこスクール」というものがあります。少しややこしいのですが、その違いについて。学童クラブは両親が働いている子どもたちのための制度で、厚生労働省の管轄事業になります。1年生から3年生までの子どもたちを、原則午後6時まで預かる。基本的には「出席」が義務付けられています。社会情勢を反映してか60名定員が年々増えて、現在は78名。子どもたちの安全だけではなく“健全な育成”をも支える職員ですが、地域のニーズがあるとはい

え定員の増加は「それもままならなくなるのでは」と、森川さんは懸念する。場合によっては、家庭の問題も子どもたちと一緒に背負って行かなければならない。

一方、「にこにこスクール」は登録が必要だけれども出席は自由です。学童との大きな違いは、出欠の確認をするか、しないか。対象は6年生まで。放課後に来て宿題やゲームをして午後5時まで過ごします。教室では学童も「にこにこ」の子どもたちも一緒です。このことを「総合プラン」と言いますが、特に区別することはありません。

## ますます専門性の高さが求められる職員

ここでは常勤4名、非常勤12名の職員が配置されており、毎日8名が子どもたちを見守っています。職員は保育士または教員免許、社会福祉士の資格を持っていますが、来年度からは合わせて「放課後児童支援員」という東京都の資格も必要になります。これまで「隙間」だった放課後における「子どもの育成」に、国や行政もようやく本腰を入れ始めたということのようだ。

学童も「にこにこ」も子どもたちに

とっては“放課後”に違いありません。職員の先生方が最も頭を悩ますのが、子どもたちとの距離感です。学校のようになっては子どもの負担になってしまい。しかし、集団だからルールは守らせなければならない。「もっとも気にかけているのは、子どもの叱り方」と、宇田さん。100人の子どもたちをある意味“ゆるい”環境の中で「まとめる」のは、とても難しい。

子どもたちの放課後を快適かつ安全に過ごせる居場所づくりのために、「見守る職員はもっとスキルアップして子どもたちに寄り添いたい。子ど

もに対する“愛”を持ち続けたい」と森川さんは言います。

この地域は外国人の子どもたちも増えています。学童クラブが地域に果たす役割はますます大きくなっているのではないか。



▲思い思いに過ごす学童クラブの子どもたち

## 東日暮里ってどんな街

日暮里っていろいろな表情を持つ街だと言いましたが、「布の街」だということ、知っていましたか。学童クラブがある第三日暮里小学校近くからまっすぐ日暮里駅に向かう中央通りは別名「布の道」と言われ、生地屋さん、ボタン屋さん、リボン屋さんなど、布関連のお店がたくさん軒を連ねています。女性はきっとワクワクするでしょうね。また、東日暮里辺りは多くの韓国料理店があって、コリアンタウンとも言われている。多国籍料理や中華料理のお店も数多く、どこかエスニックな香りが楽しい街です。

折しも、その日は地元の元三島神社のお祭り。おはやしの音がそこかしこから聞こえてきました。軒先には提灯が下がり、はっぴを着た人たちが神輿を担ぐ。学童の子どもたちも地域の子たちと一緒に子ども神輿を担ぎ、山車を引きました。

東日暮里地区はさまざまな文化を持った人たちが心を寄せ合って暮らす街。そんな街に学童クラブもしっかりと根付いている。



▲「布の道」の生地屋さん



▲カラフルな生地が並びます



▲下町情緒の祭りちょうちん



▲山車を引く学童クラブの子どもたち



『地域で育てられる子どもと家族～シンガポールの児童福祉実践～』  
愛恵福祉財団・シンガポール研修に参加して

## 印象的だった職員たちの笑顔



前板橋区立母子生活支援施設主任母子支援員・現長寿園主任事務員

藤原 巖



### クライアントから学び、成長するソーシャルワーカー

H.31年1月13日～18日の日程で愛恵福祉財団主催のシンガポール海外研修に参加した。参加者は乳児院や児童養護施設、子ども家庭支援センター等の職員13名だった。

シンガポールは多民族・多文化国家であり、中国系が74.3%、マレー系が13.4%、インド系が9%、その他が3.2%となっている。主な宗教は仏教、キリスト教、イスラム教、ヒンズー教、道教である。最近の情勢としては、外国出身配偶者や留学生、駐在員、移住者、外国出身家事労働者(メイド)が増え、彼らがシンガポールコミュニティに溶け込むことが大変になってきており、その支援が新しいニーズとなっている。



▲ファミリーサービスセンター

今回の研修では主にシンガポールでの社会的養護の取り組みとソーシャルワーカーの役割、地域福祉について学んだ。地域福祉の中心を担っている「ファミリーサービスセンター」は団地の一角にあり、生活の場に密着し、支援を行っていた。支援プログラムもその地域のニーズに合わせて行われているとのことだった。

ソーシャルワーカーは、その育成体制が確立されていた。シンガポールの社会的特徴でもある多民族・多文化の中で、ソーシャルワーカーは自らの民族・文化の持つ背景を理解し、自分の考え方方がその影響を受けていることを認識することが重要とのことだった。また、「ソーシャルワーカーはクライアントから学び成長していく」という話が印象的だった。「様々な異なる民族グループを対象にするためには、それぞれの多様性と類似性を理解することが必要であり、そのスキルと知識をクライアントから学ぶことができる」とのこと。私たちも、利用者との関わりを通して自らが成長していくことを、しっかりと意識しながら支援にあたることが大切だと感じた。

もうひとつ、印象的だったことは見学先の施設のスタッフが、みんな笑顔であふれていたことだ。見学者を笑顔で迎えるのは当然のことだが、それ以上に自分たちの仕事にプライドを持って楽しんでいるような雰囲気を感じた。ソーシャルワーカーの給与は他の職種と比べると水準以上とのことで、そのこともプライドを持って笑顔でいることにつながっているのだろう。私たちも利用者やその家族、関係機関や同職種の人たちから、同じように感じてもらうためには、働く環境を整えていくことが不可欠であると思った。



▲研修中の様子

Shibusawa  
Eiichi

## 協会設立時の顧問に就任

財務省は、平成31年4月9日に、(日本銀行券)1万円、5千円及び千円について、偽造抵抗力強化等の観点から、新た

にして製造することとし、2024年上期を目途に発行すると発表しました。新1万円札については、肖像画は渋沢栄一、裏面の絵は、東京駅(丸の内駅舎)になるとのことです。

渋沢栄一(1840-1931)と言えば、実業家として有名です。幕臣としてパリに留学、大蔵省(現財務省)を経て実業家となり、日本最初の銀行・第一国立銀行(現みずほ銀行)を創設したほか、多種多様の企業の設立に関わりました。また、社会事業家として教育や福祉の分野でもさまざま活躍をしました。

その渋沢栄一と当協会は浅からぬ縁がありました。当協会は1917年(大正6年)2月11日に東京府慈善協会として発足しましたが、協会設立時の顧

問に渋沢栄一の名前があります。会長は東京府知事の井上友一でした。当時の事業は①従事者奨励、②事業団体間の連絡調整、③調査研究であり、当協会の第一回大会を同年5月22日に小石川植物園で行い、これも旧5千円札の肖像となっていた新渡戸稻造が「慈善事業の真髄」と題した講演を行ったということです。

なお、渋沢栄一は王子の飛鳥山に居を構え、今も大正期に建てられた「晩香庵(ばんこうろう)」と「青淵文庫(せいえんぶんこ)」が国の重要文化財に指定され、当時のままの姿で残っています。また、公園内には『渋沢資料館』があり、その偉大な足跡をたどってみるのもいいかも知れません。

### 飛鳥山の渋沢邸で開かれた第2回東京府慈善協会大会(大正7年11月)と 王子隣保館開館式(大正13年10月)

当協会会報及び公益財団法人渋沢栄一記念財団の『渋沢栄一伝記資料』に以下の記載があります。  
そこから当時の様子を偲んでみましょう。

『二月十一日、東京府慈善協会創立サレ、是月栄一、ソノ顧問ニ就任ス。』

『大正六年五月二十二日(1917年)是日、小石川植物園ニ於テ当協会第一回大会開催セラル。』

栄一之ニ出席シ祝辞ヲ述ブ。』

『大正七年十一月二十七日(1918年)是日王子飛鳥山邸ニ於テ当協会第二回大会開催セラル。栄一之ニ出席シ一場ノ祝辞演説ヲナス。同九年十一月、当協会ハ名称ヲ改メテ東京府社会事業協会ト称ス。』とあり、飛鳥山の渋沢邸で当協会の大会を行いました。

『大正十三年十月三十日(1924年)是日、王子町王子尋常高等小学校内、当協会王子隣保館ノ開館式行ハル。栄一之ニ出席シ祝辞ヲ述ブ。』とあるので、王子隣保館開所式で祝辞を頂いたようです。

## 当協会の会報から

東京府社会事業協会報 第二六号・第一〇一頁 大正一四年四月・王子隣保館開館式  
王子隣保館では十月三十日左記次第に依つて開館式を挙行した

## 第一部 開館式(午後一時三十分) — 司会 神尾常務理事

一、開会の辞	巨済副会長
一、君が代(二唱)	
一、挨拶	宇佐美会長
一、報告	下松館長事務取扱
一、祝辞	大震災善後会副会長子爵 渋沢栄一氏 恩賜財団済生会理事長公爵 二条厚基(代)氏 社会局長官 池田宏(代)氏 府会議長 大石保氏 王子町長 江口義一氏
一、閉会の辞	神尾常務理事

右終つて別室にて茶菓の饗応あり、神尾常務理事の挨拶、江口王子町長の謝辞あつて、小憩後第二部を開く

## 第二部 児童祝賀会(午後三時三十分)

一、開会の辞	司会者 宮下靈山氏
一、お歌	頌栄女学校長 沼田笠峰氏
一、独唱	岩野高秋氏
一、ピアノ弾奏	長妻莞至氏
一、絵画	東京市視学 平岡信敏氏

尚ほ夜間には俱楽部の発会を兼ね活動写真会を催したが、いづれも盛会であつた。

昭和二年六月十二日(1927年)是日、日本青年館ニ於テ当協会創立十周年記念会開催セラル。

栄一之ニ出席シ一場ノ演説ヲナス。』

歴史の中のひとコマとして、協会は渋沢栄一と縁を結んだことが分りました。何か誇らしい気がします。日本の近代化に大きく貢献した渋沢栄一は多くの人々に惜しまれながら昭和6年(1931年)年11月11日、91歳の生涯を閉じました。

# 協会からのお知らせ



## 1.定款の変更及び会計監査人の設置について

### 1.定款の変更

①協会の平成29年度サービス活動収益が3,297,211,146円となり、サービス活動収益が30億円を超えたことから、社会福祉法(会計監査人の設置義務)第37条に基づき、会計監査人を設置するため、②当協会への寄付に係る非課税取扱いのため租税特別措置法施行令第25条の17第6項第1号の要件を満たすため、必要な規定を定め定款変更を行いました。(定款変更認可:平成30年8月27日)

### 2.会計監査人の設置

協会は、上記に基づき、平成30年度から会計監査人(清泉監査法人)を設置しました。このことにより、経営組織のガバナンス強化を図るとともに、協会の計算書類や財務諸表などについての透明性を高めることとしました。

(注)会計監査人とは:法人外の独立した会計専門家の立場から、法人の計算書類とその附属明細書等について会計監査を行う組織です。

## 2.諸規程の改正等について

### 1.定款細則、経理規程の改正

上述の定款変更に伴い、①会計監査人の設置、②当協会への寄付に係る非課税取扱いのため、定款細則及び経理規程の中の関連する規定を改正しました。

### 2.高齢者施設の運営規程の改正

平成30年度介護報酬改正に伴う高齢者施設の運営規程の料金表等の改正を行いました(平成30年4月1日適用)。なお、利用料の利用者負担3割については、平成30年8月1日施行としました。

### 3.保育所及び母子生活支援施設職員の処遇改善に係る処遇改善手当等支給要綱の改正

主任保育士等の諸手当(本俸を除く)との逆転を防ぐ観点から、園長・施設長の処遇改善管理職手当の改正を行いました(平成30年4月1日適用)。

### 4.役員・評議員等報酬規程の改正

評議員選任・解任委員の報酬額等を定めるため、役員・評議員報酬規程を改正し、当該報酬額については、役員・評議員が理事会・評議員会に出席した場合の報酬額と同様としました(平成30年11月29日施行)。

### 5.赤羽北さくら荘運営規程の改正

①特別養護老人ホームの定員変更(特養144→148名、ショートステイ16→12名)等について、②通所介護及び訪問介護の料金表等の改正、③地域包括支援センターの名称及び住所の変更(浮間さくら荘地域包括支援センター→浮間地域包括支援センター)について改正を行いました。(①については平成31年1月1日施行、②については平成30年10月1日適用、③については平成30年11月5日適用)

### 6.職員就業規則、パートタイマー就業規則の改正

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」(平成30年法律第71号)により、①年10日以上の年次有給休暇が付与される労働者(管理監督者を含む)に対して、年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させること、②適正な労働時間の把握のための出退勤に係る規定について改正を行いました(平成31年4月1日施行)。

### 7.組織規程の施行

協会職員の職務分掌等を明確にし、職務執行の適正性を確保するとともに、機動的な業務執行と有効性・効率性を高めるため、組織規程を制定しました。

なお、これまで当協会組織に係る規定については、処務規程によって整理されていましたが、当該処務規程(昭和58年4月1日)のうち、組織に関する規定は、効力を有しないものとしました(平成31年4月1日施行)。

## 3.転倒事故、自転車の事故に注意を

当協会の労災発生の統計(平成25~30年度:総件数62)では転倒31%、当たる・ぶつける27%、自転車15%、腰痛8%、その他19%となっています。平成30年度においても転倒事故や自転車で、骨折や長期間入院の方がいました。以下について常にチェック等をお願いします。

- 通路・階段・出口等にモノを放置していませんか。
- 床の水たまり等は放置せずその都度取り除いていますか。
- 特に浴室等では注意を促す標識を。
- 安全に作業できる照度を確保していますか。
- 自転車の「ながら運転」は絶対にダメ。
- 自転車は道路交通法上は歩行者ではなく「車両」です。十分な安全確認を。

**施**

## 設の情報発信

### 板橋区立母子生活支援施設

#### 爽快！青空を背景に悠々風に泳ぐこいのぼり

板橋区立母子生活支援施設では5月の子どもの日に向けて、毎年「こいのぼり作り」という行事を行っています。利用者や地域の子どもたちと一緒に、古くなったシーツに手形や足形を押してこいのぼりのうろこを作ります。完成したこいのぼりは、歴代の物と一緒に庭に飾っています。歴代のこいのぼりが集まると、その年ごとの個性を感じられます。迫力があって目を奪われるため、通りがかりの地域の人々にも注目されています。親子で作った思い出になるのもこの行事の魅力です。



▲制作中のこいのぼり



▲出来上がったこいのぼり

### 上十条南保育園

#### 赤ちゃん体操・リズム

上十条南保育園では、「赤ちゃん体操とリズム」を保育の柱として日々保育を行っています。リズムの目的としては、①体を動かして、楽しい・気持ちいいと感じる②正しいからだの発達をはかり、身体の機能を発達させ、正しく使えるようにする③仲間と一緒に使う楽しさを味わい、社会性を身につける、の3点です。難しそうに感じるかもしれません、職員は年度初めにリズムの園内研修を行い、キャッキャー言いながら楽しく身体を動かしています。(写真参照)



▲楽しく練習する先生たち

リズムや赤ちゃん体操を継続的に取り入れてきたことで、子どもたちの発達も変化が見られています。また、我が園長はギターにピアノに…と、音楽がとても得意です♪。園長の軽快なピアノに合わせて、歌ったり身体を動かしている毎日です。上十条南保育園が気になる方は、ぜひ、一度お越しください！一緒に身体を動かしましょう！！(上十条南保育園:小谷)

### 平成31年役職員新年会

#### REPORT

平成31年1月18日(金)に東京グリーンパレスにおいて、「平成31年役職員新年会」を開催し、218名の役職員が参加しました。母子生活支援施設や特別養護老人ホームでは勤務のため新年会に参加できない職員が多くおり、勤務されていた職員の皆様にあらためてお礼申し上げます。当日のレポートです。



▲泣いてしまった小谷主任

新年会に先立って、平成30年度の永年勤続表彰式が行われ、勤続30年6名、勤続20年5名、勤続10年6名、計17名の職員の名前が読み上げられ、新年

会出席者の前で表彰式が行われ、田中理事長より表彰状を授与されました。

その後新年会となり、田中理事長による新年の挨拶の後、理事長の音頭で乾杯し、歓談の時間となりました。

その後はお待たせしました、第2部(余興)の時間です。当協会の新年会の第2部(余興)は、参加する施設が披露する余興の完成度が年々上がり、毎年大変な盛り上がりを見せています。司会進行は板橋区立母子生活支援施設が担当しました。



▲最優秀賞を獲得した上十条南保育園

参加施設は日ごろ忙しい勤務の合間に練習を重ねた成果を存分に發揮し、ど

の出席者の顔を見ても笑顔がはじける内容で大盛況となりました。

審査結果は以下のとおり、上十条南保育園が抜群のチームワークで最優秀賞を獲得しました。

#### 最優秀賞

上十条南保育園  
組体操  
(練習風景のビデオ映像も流しながら)

#### 優秀賞

方南隣保館保育園  
タッチ  
(「タッチ」の寸劇と主題歌のダンス)

#### 敢闘賞

汐入とちのき保育園  
Let's DANCE!!  
(「Do the Monkey」のダンス)

今年も大盛況のまま幕を閉じた新年会。職員の努力の結晶とチームワークの良さを見せてもらいました。

### 東京都 共同募金会から 感謝状

毎年10月に各施設で行っている共同募金ですが、これまでの協会の協力に対して、東京都共同募金会から感謝状をいただきました(平成31年1月15日撮影)。これまで同団体からは各施設にさまざまな助成を受けています。引き続き共同募金へのご協力をお願いするとともに厚くお礼申し上げます。



▲東京都共同募金会から感謝状





## 社会福祉法人 東京都福祉事業協会

### 協会施設の一覧

#### 保育園

王子隣保館保育園 方南隣保館保育園 尾久隣保館保育園 八王子隣保館保育園 汐入とちのき保育園  
上十条南保育園 赤羽北のぞみ保育園

#### 母子生活支援施設

ハイツ尾竹 浮間ハイマート 板橋区立母子生活支援施設

#### 高齢者福祉施設等

長寿園	特別養護老人ホーム
赤羽北さくら荘	特別養護老人ホーム、デイサービス、地域包括支援センター、訪問介護、居宅介護支援等
東日暮里サービスセンター	デイサービス、学童クラブ
サービスセンター長沼	デイサービス、地域包括支援センター、居宅介護支援

ひだまり (Vol.02)

■発行日 2019年08月

■発行 社会福祉法人 東京都福祉事業協会

〒114-0002 東京都北区王子2-19-21

TEL 03-3911-3679 FAX 03-3911-6498